

ビジネスイノベーションを推進する

IoTシステム 技術検定

第1回基礎検定

実施日 **2017年12月2日(土)**

申込み期間 **2017年9月25日(月)～11月13日(月)**

検定のお申込みは
パソコンから

検定のお申込み、検定受検料、テキストのご購入に関してご案内しています。

<http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/>

開催場所 東京／横浜／名古屋／大阪／札幌／仙台／さいたま／広島／福岡

実施時間 9:50～10:50

受検料 10,800円(税込)

試験問題 4者択一形式

問題数 60問

試験時間 60分間

受検対象者

新ビジネス推進やIoTで活躍が期待されている方々の資格制度です。IoTに関する基礎知識の習得を目指す方、対象としてはIoTシステムを活用される企業、システムを提供される企業の営業・スタッフ・入社1～2年目の社員、大学／短大／専門学校の学生の方々。

特典：学生受検は学校からの申し込みにより割引制度が適用されます。詳しくは Web をご覧ください。

「MCPC IoTシステム技術検定」を推薦します。

あらゆる種類のモノがインターネットにつながり、多様な新サービスが創出されつつある現在、IoTは私たちの生活、ビジネス、産業等に大きな変革をもたらそうとしています。MCPCの「IoTシステム技術検定」は、この変革を支える各種の技術要素を体系化した検定制度であり、今後IoTの分野で活躍を目指す技術者に必須の資格となるでしょう。

東京大学大学院工学系研究科教授
スマートIoT推進フォーラム
技術戦略検討部会長

森川 博之 氏





IoTシステム技術検定

「活躍するIoTエンジニアを目指して」

IoTシステムは多種多様な技術、製品の組み合わせによって実現されますが、現状ではシステムの企画、構築、運用ができるエンジニアが大幅に不足しています。

MCPCではモバイルシステム技術者育成の豊富な経験を活かし、IoTシステムの企画、提案、構築、運用のためにバランスの取れたIoTシステムエンジニアの育成を進めています。IoTシステムを提案される企業、システムを利活用される企業や公官庁のエンジニア育成にご活用ください。

MCPC IoTシステム技術基礎検定対応

公式
ガイド

IoT技術テキスト 基礎編 第1版

2017年10月初旬発刊予定
書店にてお買い求めください。
書店にない場合は検定事務局にお問い合わせください。
■インプレス刊 ■A5判

IoTシステム
技術検定
(基礎)に対応!

IoTの基礎から、実務に直結した
知識を体系的に理解し、
企画、構築、運用ができる
IoTエンジニアになろう!

- ・出題カテゴリに準拠
- ・試験の対象分野全般をカバー
- ・受検者に最適なIoT技術入門
- ・MCPC公式テキスト

》出題カテゴリ

IoTシステム構成と構築技術

- ▶ IoTシステムアーキテクチャ、IoTサービスプラットフォーム

センサ/アクチュエータ技術と通信方式

- ▶ IoTデバイス、ネットワーク、LPWA、プロトコル

IoTデータ活用技術(AI)

- ▶ ビッグデータ分析技術、活用事例

IoT情報セキュリティ対策技術

- ▶ 脅威と脆弱性、セキュリティ対策技術、情報セキュリティの標準と法制度

IoTシステムのプロトタイプング技術

- ▶ プロトタイプング活用

》認定校による対策講座

認定校による対策講座の受講をオススメします。

※対策講座のスケジュールは各社にお問い合わせ願います。

(公財) KDDI財団
<http://www.kddi-foundation.or.jp/>
問合せ先/TEL: 03-6328-3040

KDDI
KDDI Foundation

(株)日立インフォメーションアカデミー
<http://www.hitachi-ia.co.jp/>
問合せ先/TEL: 03-5471-8962

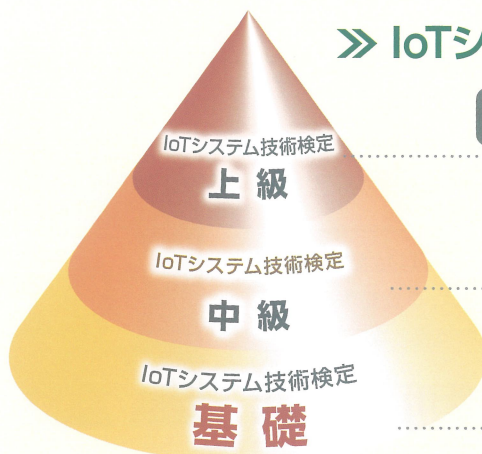
HITACHI
Inspire the Next

(株)東芝OAコンサルタント
<http://shibajuku.toshiba-toac.co.jp/>
問合せ先/TEL: 03-5408-1509

芝大門塾

Produced by TOSHIBA OA CONSULTANTS LTD.

》IoTシステム技術検定体系



上級検定

高度なIoTシステム、業界固有または業界をまたがるサービスを構築する実践的な専門技術を認定する

IoTシステム構築・活用に関する専門技術講座を受講し小論文を提出する

中級検定

IoTシステム構築に取り組むための基本技術を認定する

「IoT技術テキスト」を基本にIoTシステムの構築・活用に関わる技術知識について出題する

基礎検定

IoTに関する基礎知識を保持していることを認定する

申込みは
Webから!

<http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/>

ビジネスイノベーションを推進する

IoTシステム

技術検定

第3回
中級検定

実施日 **2017年12月2日(土)**

申込み期間 **2017年9月25日(月)～11月13日(月)**



検定のお申込みは
パソコンから

検定のお申込み、検定受検料、テキストのご購入に関してご案内しています。

<http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/>

開催場所 東京／横浜／名古屋／大阪／札幌／仙台／さいたま／広島／福岡

実施時間 9:50～11:20

受検料 15,100円(税込)

試験問題 4者択一形式

問題数 80問

試験時間 90分間

受検対象者

新ビジネス推進やIoTで活躍が期待されている方々の資格制度です。IoTシステムを構築・活用するため基本的かつ実践的な技術知識の習得を目指す方。対象としては、IT/ICT業界はもとより、環境エネルギー、運輸交通・自動車、社会インフラ公共設備、製造業、農業、流通業(小売り)、医療ヘルスケア、建設・保全(家屋、ビル)、自然環境(天気・防災等)、サービス業(メディア)などシステム構築に関係するすべての技術者。

「MCPC IoTシステム技術検定」を推薦します。

あらゆる種類のモノがインターネットにつながり、多様な新サービスが創出されつつある現在、IoTは私たちの生活、ビジネス、産業等に大きな変革をもたらそうとしています。MCPCの「IoTシステム技術検定」は、この変革を支える各種の技術要素を体系化した検定制度であり、今後IoTの分野で活躍を目指す技術者に必須の資格となるでしょう。

東京大学大学院工学系研究科教授
スマートIoT推進フォーラム
技術戦略検討部会長

森川 博之 氏



IoTシステム技術検定

IoTシステム構築・活用に関する知識を中心に、その習熟度を検定することで、IoTシステム構築に関係する技術者の対応力向上を目的にしています。



IoTシステム技術検定 合格者の声

株式会社 NTTドコモ 原 康太郎 氏

IoT領域は世界中でドラスティックな進化を続けており、自身も体系的に学ぶ必要があると考え受検しました。学習はテキストを中心に読み進め、重要だと思うワードはタブレットで事例を検索するなど、感覚的に理解できるよう努めました。今後は業界間の垣根も更に低くなると思うので、異業種間の交流を積極的に行い、新たな価値創造に努めたいと思います。

株式会社日立製作所 北 智宏 氏

IoTを意識した提案活動の必要性を感じ、受検を決めました。通信方式やデータ活用技術等は予備知識があったもののデバイスやプロトタイプ開発等については初見の内容が多く、苦戦しました。今回の受検によりIoT関連の知識を体系的に学ぶことができました。これを契機に今後もIoT市場や技術動向を注視し、営業活動に生かしたいと思います。

ソフトバンク株式会社 木南 雅彦 氏

IoTというセンサやAIなどの学習になりがちですが、本検定に合格することで個々の技術をつなぐシステムとして俯瞰する重要性が理解でき、サービス開発時の大きなヒントになりました。20世紀から続いた情報通信の革新がIoTへと変遷し今まさに各種産業へ活用されつつあります。新時代のIoTエンジニアには必須の検定だと思います。

富士通株式会社 平田 宗和 氏

今後のIoTの発展に対して、知識習得の必要性を感じていました。そこにWebサイトで本検定を見つけたのが受検のきっかけです。テキストは網羅的に整理されているので、大変勉強になりました。ただ、非常に範囲が広い点は苦労しました。IoTに関する知識・技術の体系的理解に有効な検定だと思います。

KDDI 株式会社 鹿間 勇士 氏

スマートフォン普及により、センサなどの電子デバイス、AIやクラウドなどのサービスが高性能化し安価に試せるようになりました。IoT技術テキストは技術要素や組み合わせで活用するヒントがまとめられています。受検することで、新サービス提案や業務効率化、個人では電子工作など趣味活動領域が広がります。是非チャレンジしてみてください。



IoTシステム技術検定 中級検定対応 公式テキスト IoT技術テキスト 第1版

書店にてお買い求めください。
書店にない場合は検定事務局にお問い合わせください。

■ 本体価格：2,800円(税別)
■ リックテレコム刊 ■ B5判

① IoTシステム技術検定に対応

本書は、検定(中級)の出題カテゴリに準拠しており、試験の対象分野全般をカバーしています。このため、検定へ挑戦する方にとって、最適なIoT技術入門書となっています。

② IoTの主要技術を体系的に解説

IoTの基礎から、システム、通信、デバイス等のインフラ知識、さらにデータ活用、プロトタイプ、セキュリティなど、実務の課題に直結した知識が体系的にまとめられていますので、本書1冊でIoTの全容を概括でき、まとまった知識が得られます。

③ 新しい技術動向もキャッチ

変化の激しい国際標準化の動向や、注目されている新技術の動向なども追跡し、IoTの新しい波を積極的に取り入れています。

》出題カテゴリと出題比率(%)

IoTシステム構成と構築技術 》 5~15%

▶ IoTシステムアーキテクチャ、IoTサービスプラットフォーム

センサ/アクチュエータ技術と通信方式 》 30~35%

▶ IoTデバイス、ネットワーク、LPWA、プロトコル

IoTデータ活用技術 》 25~30%

▶ ビッグデータ分析技術、活用事例

IoT情報セキュリティ対策技術 》 20~25%

▶ 脅威と脆弱性、セキュリティ対策技術、情報セキュリティの標準と法制度

IoTシステムのプロトタイプ技術 》 5~15%

▶ プロトタイプ活用

》認定校による対策講座

認定校による対策講座の受講をオススメします。

※対策講座のスケジュールは各社にお問い合わせください。

(公財) KDDI財団
<http://www.kddi-foundation.or.jp/>
問合せ先/TEL: 03-6328-3040

KDDI
KDDI Foundation

(株) 日立インフォメーションアカデミー
<http://www.hitachi-ia.co.jp/>
問合せ先/TEL: 03-5471-8962

HITACHI
Inspire the Next

(株) 東芝OAコンサルタント
<http://shibajuku.toshiba-toac.co.jp/>
問合せ先/TEL: 03-5408-1509

芝大門塾

Produced by TOSHIBA OA CONSULTANTS LTD.

》IoTシステム技術検定体系



上級検定

高度なIoTシステム、業界固有または業界をまたがるサービスを構築する実践的な専門技術を認定する

IoTシステム構築・活用に関する専門技術講座を受講し小論文を提出する

中級検定

IoTシステム構築に取り組むための基本技術を認定する

「IoT技術テキスト」を基本にIoTシステムの構築・活用に関わる技術知識について出題する

基礎検定

IoTに関する基礎知識を保持していることを認定する

大学/短大/専門学校の学生、新社会人の方々を対象

申込みは
Webから!

<http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/>